

### 千葉市美術館「岡本神草の時代展」を開催します ～夭折の日本画家の全貌に迫る、関東での展示は千葉市美術館のみ～

千葉市美術館では、企画展「岡本神草の時代展」を以下のとおり開催しますので、お知らせします。  
本展は、大正から昭和の京都画壇において、短い活動期間ながら新風をもたらした日本画家・岡本神草の関東唯一の回顧展です。

開催にあたりまして、5月29日（火）15：00から記者の皆さまへの披露説明会、5月30日（水）16：00からオープニングレセプションを実施しますので、ぜひ取材にお越しくください。

- 1 会期 平成30年5月30日（水）～7月8日（日）  
※休館日 6月4日（月）、18日（月）、7月2日（月）
- 2 会場 千葉市美術館（中央区中央3-10-8）
- 3 主催 千葉市美術館、京都国立近代美術館

#### 4 ポイント ◆夭折の日本画家の回顧展

明治27年に神戸で生まれ、大正から昭和にかけて京都で活動した日本画家・岡本神草は、その神秘的な作風に加えて寡作であること、38歳という若さでなくなったことで現在でも多くのファンを魅了している。浮世絵からの影響を受け、濃厚な官能性を帯びた代表作《口紅》をはじめ、数少ない完成作に素描や下図約100点の他、師の菊池契月や共に競い合った甲斐庄楠音らの作品も展示する。

#### ◆数少ない完成作の全貌をはじめて紹介

神草は活動期間が短く、構想や準備を念入りにしたことから、完成させた大作に至ってはわずか数点しか現存しない。本展では存在が確認されている代表作すべてを出品し、未完の傑作となってしまった「拳を打てる三人の舞妓」のシリーズのほか、本画として初めて紹介される屏風《五女遊戯》も展示する。

#### ◆関東での展示は千葉市美術館だけ

本展は、昨年秋に京都国立近代美術館で開催され、笠岡市立竹 喬 美術館、そして千葉市美術館に巡回するもの。最後の会場となる市美術館では、参考出品する所蔵作品とともに岡本神草の全貌を見渡すことができる。

- 5 観覧料 一般 1,000円(800円)、大学生 700円(560円)  
※「きもの割引」・・・きものを着てご来館の方は観覧料2割引  
※小・中学生、高校生および障害者手帳をお持ちの方とその介護者1名は無料。  
※( )内は前売券、団体20人以上の方、市内在住65歳以上の方の料金。  
※前売券は、ローソンチケット、セブンイレブン(セブンチケット)、千葉都市モノ  
レール「千葉みなと駅」「千葉駅」「都賀駅」「千城台駅」の窓口にて5月29日ま  
で販売。

- 6 関連イベント 展覧会に関連して、講演会などを開催。

「岡本神草の時代展」披露説明会 開催概要

日時 5月29日(火) 15:00から  
場所 千葉市美術館 10階会議室  
内容 展示作品をご覧いただき、主な展示作品の見所などを担当学芸員からご説明いたし  
ます。

「岡本神草の時代展」オープニングレセプション

日時 5月30日(水) 16:00から  
場所 千葉市美術館 11階講堂  
内容 来賓の方々とともに展覧会の開催を記念するオープニングレセプションを開催し  
ます。

<本件に関するお問い合わせ先>

千葉市美術館 担当学芸員 藁科英也  
広報担当 磯野 愛  
〒260-8733 中央区中央3-10-8  
電話 043-221-2311  
FAX 043-221-2316  
E-Mail isono@ccma-net.jp